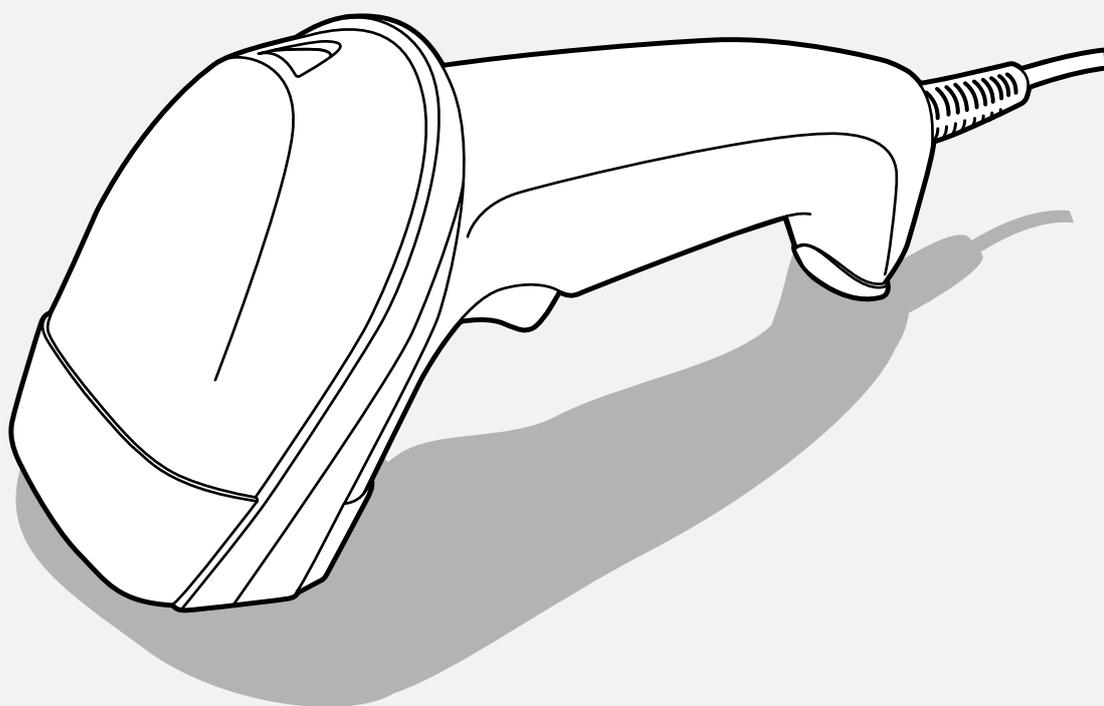


FK-1530V

詳細設定マニュアル



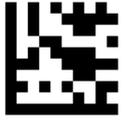
目次

1. 基本設定	5
1.1 出荷時の状態に戻す	5
1.2 バージョン情報	5
1.3 インターフェース	5
1.4 RS-232C の設定	6
1.5 言語キーボード	7
1.6 読み取りブザー音の設定	7
1.7 バイブレーションの設定方法	8
1.8 USB-HID の文字間遅延設定	9
2. スキャン設定	10
2.1 スキャンモード	10
2.2 物体検知モードの感度設定	10
2.3 デコードエリア	11
2.4 デコードタイムアウトの設定	12
2.5 同一バーコードの読み取り遅延設定	13
2.6 サスペンド状態になるまでの時間設定	13
2.7 イルミネーションの設定	14
2.8 エイミング（照準光）の設定	15
2.9 照合チェック設定	15
3. バーコードプログラムの設定	16
3.1 1D/2D バーコード読み取り設定	16
3.2 UPC-A	17
3.3 UPC-E	19
3.4 EAN-13	21
3.5 EAN-8	26
3.6 Code39	28
3.7 NW-7/Codabar	30
3.8 Code93	32
3.9 Code128/GS1-128	33
3.10 Interleaved 2 of 5 (ITF)	34
3.11 Code32	35
3.12 MSI	36
3.13 GS1 Databar	37
3.14 QR Code/Micro QR	43
3.15 Data Matrix	45
3.16 PDF417/Micro PDF417	45
3.17 MaxiCode	46

4. 送信データを編集する	47
4.1 先頭/末尾に文字を付加する（プレフィックス/サフィックス）	47
4.2 改行コードの設定	48
4.3 指定した桁数を切り捨て	49
4.4 Caps Lock ステータス	50
4.5 大文字/小文字変換	50
4.6 制御文字の入力方法	50
4.7 制御文字の変換	51
コード別の設定バーコード一覧	54
ASCII コード（制御文字）	56
ASCII コード（文字・数字・記号）	58
ファンクションキー	64
数字バーコード	66

改訂履歴

FWバージョン	
WDM-J1.0.8.5	初回
WDM-J1.0.9.5	<ul style="list-style-type: none"> ●QRコードの Model1 の読み取りを修正 ●GS1-128・GS-1 Databar のアプリケーション識別子出力にて、括弧つきでの出力に対応 ●GS-1 Databar 合成シンボルの読み取りに対応
WLM-J1.2.1	書籍用 2 段バーコード (978/192) の一括読み取りに対応
WLM-J1.3.0	暗所での物体検知モードの検知能力改善
WLM-J1.4.5	<ul style="list-style-type: none"> ●連結 QR コード読み取り対応 ●USB-HID にて文字間遅延設定追加 ●書籍用 2 段バーコード (979/192) の一括読み取りに対応



設定開始/設定終了

1. 基本設定

1.1 出荷時の状態に戻す



設定初期化

1.2 バージョン情報

※「設定開始」「設定終了」は不要です。



バージョン情報

1.3 インターフェース

※設定初期化をしても、インターフェースの設定は変更されません。



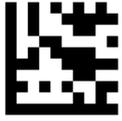
*USB-HID



RS-232C



USB-COM



設定開始/設定終了

1.4 RS-232C の設定

ボーレート



*9600



19200



38400



57600



115200



230400

データビット



*8 ビット



7 ビット

パリティ



*なし



Odd (奇数)



Even (偶数)

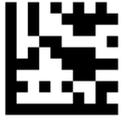
ストップビット



*1 ビット



2 ビット



設定開始/設定終了

1.5 言語キーボード



*日本



アメリカ

1.6 読み取りブザー音の設定

読み取りブザー音の ON/OFF



*ON



OFF

読み取りブザー音の調整



Low



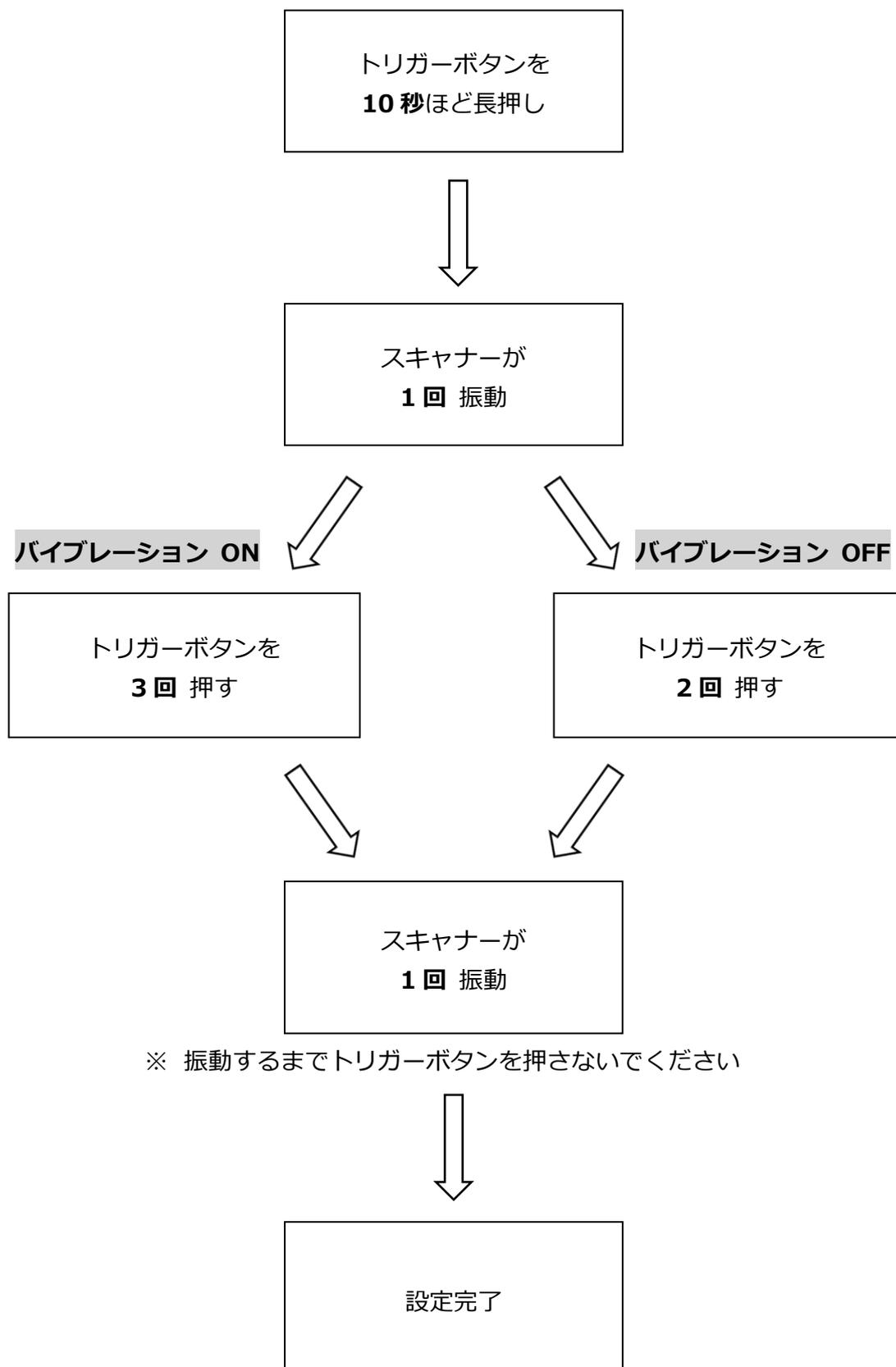
*Medium

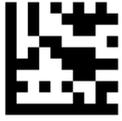


High

1.7 バイブレーションの設定方法

トリガーボタンの操作によって、バイブレーションの ON/OFF を切り替えることができます。





設定開始/設定終了

1.8 USB-HID の文字間遅延設定

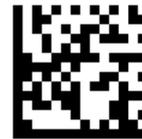
接続している端末や使用しているアプリケーションによっては、スキャナーのデータ送信速度の影響で正しい出力結果を得られないことがあります。

その場合は文字間遅延設定を変更してください。

※WLM-J1.4.3 より対応



*3ms



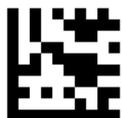
6ms



9ms



12ms



設定開始/設定終了

2. スキャン設定

2.1 スキャンモード



*トリガーモード



連続読取モード



物体検知モード

- ※連続読取モード設定時…トリガーを押すことで、デコードのON/OFFを切り替えることができます。
 - ※物体検知モード設定時…トリガーを1回押すことで5秒間ほど一時的にデコードをOFFにすることができます。(時間経過後、自動でデコードONに戻ります)
-

2.2 物体検知モードの感度設定

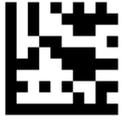


*感度・普通



感度・高

- ※感度設定の変更後、センサーが反応するまでに5秒ほど時間がかかることがあります。



2.3 デコードエリア

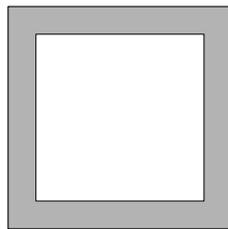
スキャナーの読み取り領域を設定できます。



デコードエリア 100%



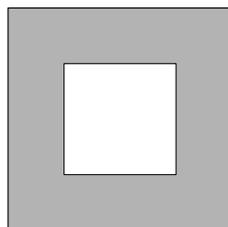
*デコードエリア 100%



デコードエリア 75%



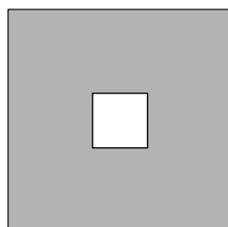
デコードエリア 75%



デコードエリア 50%



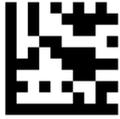
デコードエリア 50%



デコードエリア 25%



デコードエリア 25%



設定開始/設定終了

各種 タイムアウトの設定方法

- 1) 設定開始をスキャン
 - 2) 設定バーコードをスキャン
 - 3) 「数字バーコード (P.66)」をスキャン
(例：1,500ms に設定の場合は「1」「5」「0」「0」をスキャンします)
 - 4) 設定終了をスキャン
-

2.4 デコードタイムアウトの設定

デコード (バーコード読み取り) の状態にいる時間を設定できます。

- トリガーモード・物体検知モードでのみ適用可能です。
- 設定可能範囲：0～60,000ms (1ms 刻みで設定可能)
- 「0」に設定すると、タイムアウトが無効の設定になります。

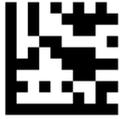


デコードタイムアウトの設定

(初期値：5,000ms)

トリガーモード：トリガー押下中のデコード状態にいる時間

物体検知モード：センサーが反応してデコード状態にいる時間



設定開始/設定終了

2.5 同一バーコードの読み取り遅延設定

同じバーコードを読み取るまでの時間を設定できます。

- 連続読取モードと物体検知モードでのみ適用可能です。
- 設定可能範囲：0～5,000ms（1ms 刻みで設定可能）



同一バーコード遅延設定
(初期値：1,500ms)

2.6 サスペンド状態になるまでの時間設定

デコード（読み取り） → アイドル（休止） → サスペンド（一時停止）で、アイドル状態からサスペンド状態になるまでの時間を設定できます。

- トリガーモードと連続読取モードでのみ適用可能です。
- 設定可能範囲：0～3,600,000ms（1ms 刻みで設定可能）
- 「0」に設定すると、タイムアウトが無効（サスペンド状態にならない）の設定になります。



サスペンド状態になるまでの時間設定
(初期値：15,000ms)



設定開始/設定終了

2.7 イルミネーションの設定



*トリガーで ON



無効



常に ON

(サスペンド状態では OFF になります)



フェードアップ

(弱光 → トリガー押下で点灯)

※稼働中、常に ON に設定したい場合は

- イルミネーションの設定 → 常に ON
- サスペンド状態になるまでの時間設定 (P.13) → 「0ms」 に設定してください。

イルミネーションの明るさ



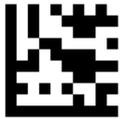
弱



中



*強



設定開始/設定終了

2.8 エイミング（照準光）の設定

赤い照準光の設定ができます。



* トリガーで ON



無効



常に ON

(サスペンド状態では OFF になります)

※稼働中、常に ON に設定したい場合は

- エイミングの設定 → 常に ON
- サスペンド状態になるまでの時間設定 (P.13) → 「0ms」 に設定してください。

2.9 照合チェック設定

照合チェックの回数を増やすことにより、誤読やエラーを低減させます。

ただし、回数を増やすことにより読み取るまでに若干時間がかかることがあります。



*1 回



2 回



3 回



設定開始/設定終了

3. バーコードプログラムの設定

3.1 1D/2D バーコード読み取り設定



*すべてのバーコード読取 有効



すべてのバーコード読取 無効



1D バーコード読取 有効



2D バーコード読取 有効

※1D あるいは 2D バーコードのみを読み取り有効にしたい場合は、「すべてのバーコード読取 無効」に設定後、読み取りを有効にしたいバーコードを設定してください。

読み取り桁数の設定方法

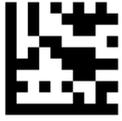
■桁数 A のみ読み取り（例：5 桁のバーコードのみ読み取りたい場合）

- 1) 設定開始をスキャン
- 2) 設定バーコードをスキャン
- 3) 「数字バーコード (P.66)」の「0」「5」をスキャン
- 4) 設定終了をスキャン

■桁数 A～B のみ読み取り（例：1～5 桁のバーコードのみ読み取りたい場合）

■桁数 A と B のみ読み取り（例：1 桁と 5 桁のバーコードのみ読み取りたい場合）

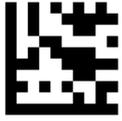
- 1) 設定開始をスキャン
- 2) 設定バーコードをスキャン
- 3) 「数字バーコード (P.66)」の「0」「1」「0」「5」をスキャン
- 4) 設定終了をスキャン



設定開始/設定終了

3.2 UPC-A

UPC-A 読み取り		*有効		無効
UPC-A を EAN-13 に変換		有効		*無効
UPC-A チェックデジットを送信する		*有効		無効
UPC-A 先頭が 0 の場合 0 を削除		有効		*無効



設定開始/設定終了

UPC-A
アドオン読み取り設定



*無効



2桁アドオン有効



5桁アドオン有効

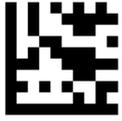
アドオンのある
UPC-Aのみ読み取り



有効



*無効



3.3 UPC-E

UPC-E 読み取り		*有効		無効
UPC-E を UPC-A に変換		有効		*無効
UPC-E チェックデジットを送信する		*有効		無効
UPC-E 先頭が 0 の場合 0 を削除		有効		*無効



設定開始/設定終了



*無効

UPC-E
アドオン読み取り設定



2桁アドオン有効



5桁アドオン有効

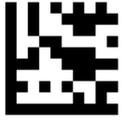
アドオンのある
UPC-Eのみ読み取り



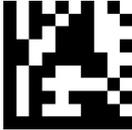
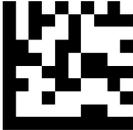
有効

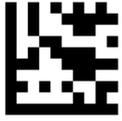


*無効



3.4 EAN-13

EAN-13 読み取り		*有効		無効
EAN-13 チェックデジットを送信する		*有効		無効
旧 ISBN (10 桁) の読み取り		有効		*無効



設定開始/設定終了



*無効

EAN-13
アドオン読み取り設定



2桁アドオン有効



5桁アドオン有効

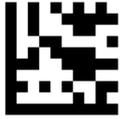
アドオンのある
EAN-13のみ読み取り



有効



*無効



設定開始/設定終了

書籍用 2 段バーコード (978/192) - 読み取り設定

※WLM-J1.2.1 より対応

※書籍用 2 段バーコードの結合出力を有効にすると、

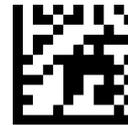
EAN-13 の「アドオンのある EAN-13 のみ読み取り有効」の設定はできなくなります。



978/192 フラグ

1 段 / 2 段両方読取可

書籍用 2 段 (978/192)
結合して出力



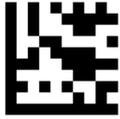
978/192 フラグ

2 段構成のみ読取可



*無効

1 段 / 2 段両方読取可	 9 780000 000002 ○読取可	 9 780000 000002 1 920000 000000 ○結合して読取/出力可
2 段構成のみ読取可	 9 780000 000002 ×読取不可	 9 780000 000002 1 920000 000000 ○結合して読取/出力可
無効	 9 780000 000002 ○読取可	 9 780000 000002 1 920000 000000 ×結合して読取/出力不可



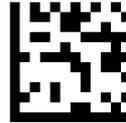
設定開始/設定終了

書籍用 2 段バーコード (979/192) - 読み取り設定

※WLM-J1.4.5 より対応

※書籍用 2 段バーコードの結合出力を有効にすると、

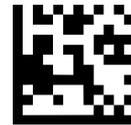
EAN-13 の「アドオンのある EAN-13 のみ読み取り有効」の設定はできなくなります。



979/192 フラグ

1 段 / 2 段両方読取可

書籍用 2 段 (979/192)
結合して出力



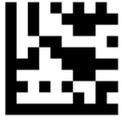
979/192 フラグ

2 段構成のみ読取可



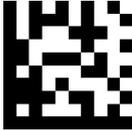
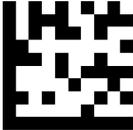
*無効

1 段 / 2 段両方読取可	 9 790000 000001 ○読取可	 9 790000 000001 1 920000 000000 ○結合して読取/出力可
2 段構成のみ読取可	 9 790000 000001 ×読取不可	 9 790000 000001 1 920000 000000 ○結合して読取/出力可
無効	 9 790000 000001 ○読取可	 9 790000 000001 1 920000 000000 ×結合して読取/出力不可



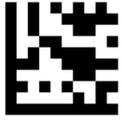
設定開始/設定終了

3.5 EAN-8

EAN-8 読み取り		*有効
		無効

EAN-8 チェックデジットを送信する		*有効
		無効

EAN-8 を EAN-13 に変換		有効
		*無効



設定開始/設定終了

EAN-8
アドオン読み取り設定



*無効



2桁アドオン有効



5桁アドオン有効

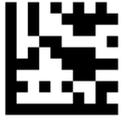
アドオンのある
EAN-8のみ読み取り



有効



*無効



3.6 Code39

Code39
読み取り



*有効



無効

Code39
チェックデジットを計算する



有効



*無効

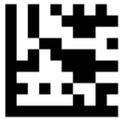
Code39
チェックデジットを送信する



*有効



無効



Code39 フルアスキー	 有効	 *無効
	 有効	 *無効
Code39 スタートストップキャラクター を送信する	 桁数 A のみ読取	 桁数 A と B のみ読取
	Code39 読み取り桁数 設定方法は P.16 参照 (設定可能範囲 : 01~99)	 桁数 A~B のみ読取



設定開始/設定終了

3.7 NW-7/Codabar

NW-7/Codabar
読み取り



*有効



無効

NW-7/Codabar
チェックデジットを計算する



有効



*無効

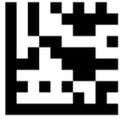
NW-7/Codabar
チェックデジットを送信する



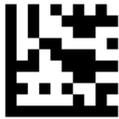
*有効



無効



<p>NW-7/Codabar スタートストップキャラクター を送信する</p> <p>(ABCD/ABCD タイプのみ)</p>	 <p>有効</p>
<p>NW-7/Codabar 読み取り桁数</p> <p>設定方法は P.16 参照 (設定可能範囲 : 01~99)</p>	 <p>*無効</p>
	 <p>桁数 A のみ読取</p>
	 <p>桁数 A と B のみ読取</p>
	 <p>桁数 A~B のみ読取</p>
	 <p>*桁数設定なし</p>



3.8 Code93

Code93
読み取り



*有効



無効

Code93
読み取り桁数

設定方法は P.16 参照
(設定可能範囲 : 01~99)



桁数 A のみ読取



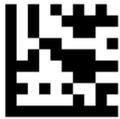
桁数 A と B のみ読取



桁数 A~B のみ読取



*桁数設定なし



3.9 Code128/GS1-128

Code128/GS1-128
読み取り



*有効



無効

Code128
読み取り桁数

設定方法は P.16 参照
(設定可能範囲 : 01~99)

※GS1-128 では設定できません



桁数 A のみ読取



桁数 A と B のみ読取



桁数 A~B のみ読取



*桁数設定なし

GS1-128
アプリケーション識別子 (AI)
の送信

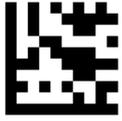
※WDM-J1.0.9.5 より対応



*括弧()なしで送信

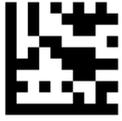


括弧()付きで送信



3.10 Interleaved 2 of 5 (ITF)

Interleaved 2 of 5 読み取り		*有効		無効
Interleaved 2 of 5 チェックデジットを計算する		有効		*無効
Interleaved 2 of 5 チェックデジットを送信する		*有効		無効



設定開始/設定終了



桁数 A のみ読取

Interleaved 2 of 5
読み取り桁数

設定方法は P.16 参照
(設定可能範囲 : 01~99)



桁数 A と B のみ読取



桁数 A~B のみ読取



*桁数設定なし

3.11 Code32

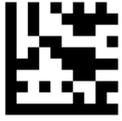


有効

Code32
読み取り

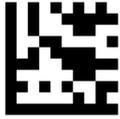


*無効



3.12 MSI

MSI 読み取り		有効
		*無効
MSI チェックデジットを計算する		*有効
		無効
MSI チェックデジットを送信する		*有効
		無効

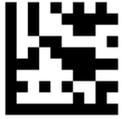


設定開始/設定終了

3.13 GS1 Databar

Omnidirectional & Truncated (標準型 & 切詰型)

標準型 & 切詰型 読み取り		*有効
		無効
標準型 & 切詰型 アプリケーション識別子 (AI) の送信		*括弧()なしで送信
		送信しない
		括弧()付きで送信
		※WDM-J1.0.9.5 より対応



設定開始/設定終了

Stacked & Stacked Omnidirectional (二層型 & 標準二層型)

二層型 & 標準二層型
読み取り

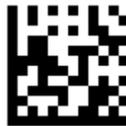


*有効



無効

二層型 & 標準二層型
アプリケーション識別子 (AI)
の送信



*括弧()なしで送信



送信しない



括弧()付きで送信

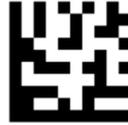
※WDM-J1.0.9.5 より対応



設定開始/設定終了

Expanded (拡張型)

拡張型
読み取り



*有効



無効

拡張型
アプリケーション識別子 (AI)
の送信



*括弧()なしで送信



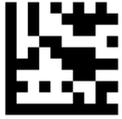
送信しない

※“01”の AI のみ対応



括弧()付きで送信

※WDM-J1.0.9.5より対応



設定開始/設定終了

Expanded Stacked (拡張多層型)

拡張多層型
読み取り



*有効



無効

拡張多層型
アプリケーション識別子 (AI)
の送信



*括弧()なしで送信



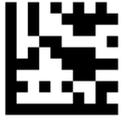
送信しない

※“01”のAIのみ対応



括弧()付きで送信

※WDM-J1.0.9.5より対応



設定開始/設定終了

Limited (限定型)

限定型
読み取り



*有効



無効

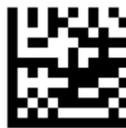
限定型
アプリケーション識別子 (AI)
の送信



*括弧()なしで送信

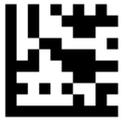


送信しない



括弧()付きで送信

※WDM-J1.0.9.5より対応

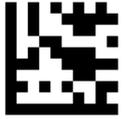


設定開始/設定終了

GS-1 Databar 合成シンボル

※WDM-J1.0.9.5 より対応

CC-A 読み取り	 有効
	 *無効
CC-B 読み取り	 有効
	 *無効



設定開始/設定終了

3.14 QR Code/Micro QR

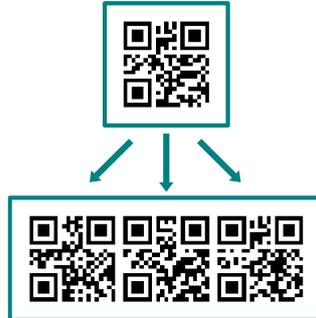
QR Code 読み取り	 *有効	 無効	
	日本語 QR 出力設定	 *Shift JIS	 UTF-8
※USB-HID 接続のみ対応			
Micro QR 読み取り	 有効	 *無効	

※日本語 QR 出力について…

- 「Shift JIS」に設定した場合…Shift JIS・UTF-8 どちらの文字コードで作られた QR コードも Shift JIS の文字コードで出力されます。
- 「UTF-8」に設定した場合…Shift JIS・UTF-8 どちらの文字コードで作られた QR コードも UTF-8 の文字コードで出力されます。



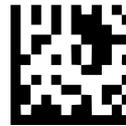
設定開始/設定終了



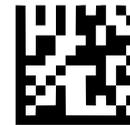
スキャナーが連結 QR を検出すると、連結 QR のすべてのバーコードを読み取るまでデータをバッファリングします。QR シンボルは最大 6 個までです。

※WLM-J1.4.5 より対応

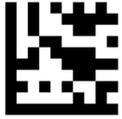
連結 QR
読み取り



有効



*無効



設定開始/設定終了

3.15 Data Matrix

Data Matrix
読み取り



*有効



無効

3.16 PDF417/Micro PDF417

PDF417
読み取り



*有効



無効

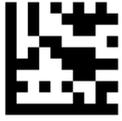
Micro PDF417
読み取り



有効



*無効



設定開始/設定終了

3.17 MaxiCode

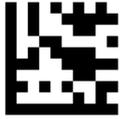
MaxiCode
読み取り



有効



*無効



設定開始/設定終了

4. 送信データを編集する

4.1 先頭/末尾に文字を付加する（プレフィックス/サフィックス）

先頭（プレフィックス）
の設定



先頭 付加する



*先頭 付加しない

末尾（サフィックス）
の設定



*末尾 付加する

初期値：すべてのコードに CR を付加
設定可能な文字数：6



末尾 付加しない

データフォーマット

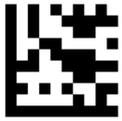
先頭（プレフィックス）	スキャンデータ	末尾（サフィックス）
-------------	---------	------------

プレフィックス/サフィックスの設定方法

- 1) 設定開始
- 2) 「先頭 付加する」あるいは「末尾 付加する」のバーコードをスキャン
- 3) 「コード別の設定バーコード（P.54～）」から、設定したいバーコード種をスキャン
- 4) 「ASCII コード（P.56～）」「ファンクションキー（P.64～）」から、付加したい順にバーコードをスキャン（6文字まで付加可能）
- 5) 設定終了

プレフィックス/サフィックスを付加しない（※バーコード種別ごとでの設定はできません。）

- 1) 設定開始
- 2) 「先頭 付加しない」あるいは「末尾 付加しない」のバーコードをスキャン
- 3) 「コード別の設定バーコード（P.54～）」から、「すべてのコード」をスキャン
- 4) 設定終了



4.2 改行コードの設定

よく使われる末尾（サフィックス）の設定です。



末尾 付加する



すべてのコード



*CR	CR + LF	TAB
	 ↓ 	

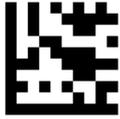
改行コードなし



末尾 付加しない



すべてのコード



設定開始/設定終了

4.3 指定した桁数を切り捨て

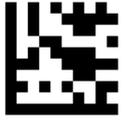
先頭あるいは末尾から、指定した桁数のデータを切り捨てる設定をします。

例 : 123456789 (Code39)	⇒ 先頭から 3 桁を切り捨てる ⇒ 456789
 123456789	⇒ 末尾から 3 桁を切り捨てる ⇒ 123456

<p>先頭から指定した桁数を切り捨て</p> <p>初期値 : 0 (設定可能範囲 : 0~99)</p>	 <p>先頭 切り捨て</p>
<p>末尾から指定した桁数を切り捨て</p> <p>初期値 : 0 (設定可能範囲 : 0~99)</p>	 <p>末尾 切り捨て</p>

設定方法

- 1) 設定開始をスキャン
- 2) 「先頭 切り捨て」あるいは「末尾 切り捨て」のバーコードをスキャン
- 3) 「コード別の設定バーコード (P.54~)」より、設定したいバーコード種をスキャン
- 4) 「数字バーコード (P.66)」をスキャン
(例 : 1 桁の場合 ⇒ 「1」、10 桁の場合 ⇒ 「1」「0」)
- 5) 設定終了をスキャン



設定開始/設定終了

4.4 Caps Lock ステータス

ご使用のキーボードの Caps Lock ステータスに合わせて設定してください。

※USB-HID 接続のみ設定有効



*Caps Lock OFF



Caps Lock ON

4.5 大文字/小文字変換



*変換しない



すべて大文字に変換



すべて小文字に変換

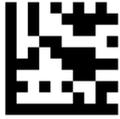
4.6 制御文字の入力方法



*Ctrl + ASCII



Alt + テンキー



4.7 制御文字の変換

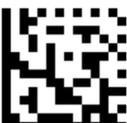
バーコードのデータ内にある制御文字を他の ASCII 文字に変換して出力することができます。

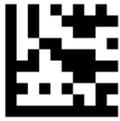
設定方法

- 1) 設定開始
- 2) 変換したい制御文字の設定バーコードをスキャン
- 3) ASCII コード (P.56～) から設定したい ASCII 文字 (1 文字のみ設定可能) のバーコードをスキャン
- 4) 設定終了

元の出力 (変換しない) 状態に戻す方法

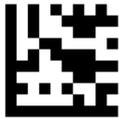
- 1) 設定開始
- 2) 設定したい制御文字の「戻す」設定バーコードをスキャン
- 3) 設定終了

NUL	 NUL 変換	 NUL に戻す	EOT	 EOT 変換	 EOT に戻す
SOH	 SOH 変換	 SOH に戻す	ENQ	 ENQ 変換	 ENQ に戻す
STX	 STX 変換	 STX に戻す	ACK	 ACK 変換	 ACK に戻す
ETX	 ETX 変換	 ETX に戻す	BEL	 BEL 変換	 BEL に戻す



設定開始/設定終了

BS	 BS 変換	 BS に戻す	SI	 SI 変換	 SI に戻す
HT	 HT 変換	 HT に戻す	DLE	 DLE 変換	 DLE に戻す
LF	 LF 変換	 LF に戻す	DC1	 DC1 変換	 DC1 に戻す
VT	 VT 変換	 VT に戻す	DC2	 DC2 変換	 DC2 に戻す
FF	 FF 変換	 FF に戻す	DC3	 DC3 変換	 DC3 に戻す
CR	 CR 変換	 CR に戻す	DC4	 DC4 変換	 DC4 に戻す
SO	 SO 変換	 SO に戻す	NAK	 NAK 変換	 NAK に変換



設定開始/設定終了

SYN	 SYN 変換	 SYN に戻す	ESC	 ESC 変換	 ESC に戻す
ETB	 ETB 変換	 ETB に戻す	FS	 FS 変換	 FS に戻す
CAN	 CAN 変換	 CAN に戻す	GS	 GS 変換	 GS に戻す
EM	 EM 変換	 EM に戻す	RS	 RS 変換	 RS に戻す
SUB	 SUB 変換	 SUB に戻す	US	 US 変換	 US に戻す

コード別の設定バーコード一覧



すべてのコード



UPC-A



UPC-E



EAN-13



EAN-8



Code39



Codabar/NW7



Code93



Code128



Interleaved 2 of 5 (ITF)



Code32



MSI



GS1 Databar
標準型・切詰型



GS1 Databar 14
二層型・標準二層型



GS1 Databar
拡張型



GS1 Databar
拡張多層型



GS1 Databar
限定型



QR Code



Micro QR



Data Matrix



PDF417



Micro PDF417



MaxiCode



CC-A



CC-B

ASCII コード (制御文字)

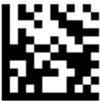
hex	Serial		hex	Serial	
00	NUL		08	BS	
01	SOH		09	HT	
02	STX		0A	LF	
03	ETX		0B	VT	
04	EOT		0C	FF	
05	ENQ		0D	CR	
06	ACK		0E	SO	
07	BEL		0F	SI	

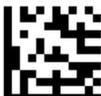
hex	Serial		hex	Serial	
10	DLE		18	CAN	
11	DC1		19	EM	
12	DC2		1A	SUB	
13	DC3		1B	ESC	
14	DC4		1C	FS	
15	NAK		1D	GS	
16	SYN		1E	RS	
17	ETB		1F	US	

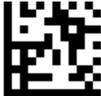
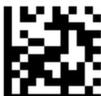
ASCII コード (文字・数字・記号)

hex			hex		
20	Space		28	(
21	!		29)	
22	"		2A	*	
23	#		2B	+	
24	\$		2C	' カンマ	
25	%		2D	- ハイフン	
26	&		2E	· ドット	
27	' アポストロフィー		2F	/	

hex			hex		
30	0		38	8	
31	1		39	9	
32	2		3A	:	
33	3		3B	;	
34	4		3C	<	
35	5		3D	=	
36	6		3E	>	
37	7		3F	?	

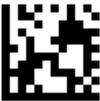
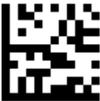
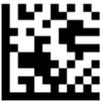
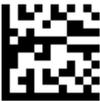
hex			hex		
40	@		48	H	
41	A		49	I	
42	B		4A	J	
43	C		4B	K	
44	D		4C	L	
45	E		4D	M	
46	F		4E	N	
47	G		4F	O	

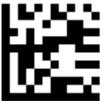
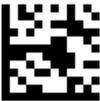
hex			hex		
50	P		58	X	
51	Q		59	Y	
52	R		5A	Z	
53	S		5B	[
54	T		5C	¥	
55	U		5D]	
56	V		5E	^	
57	W		5F	— アンダーバー	

hex			hex		
60	、 グレイヴ・アクセント		68	h	
61	a		69	i	
62	b		6A	j	
63	c		6B	k	
64	d		6C	l	
65	e		6D	m	
66	f		6E	n	
67	g		6F	o	

hex			hex		
70	p		78	x	
71	q		79	y	
72	r		7A	z	
73	s		7B	{	
74	t		7C	 パーティカルバー	
75	u		7D	}	
76	v		7E	~	
77	w		7F	Delete	

ファンクションキー

Enter		F1	
Tab		F2	
Back Space		F3	
Space		F4	
Insert		F5	
Delete		F6	
Home		F7	
End		F8	

F9		Page Up	
F10		Page Down	
F11		※ Ctrl	
F12		※ Alt	
Arrow Up		※ Shift	
Arrow Down		<p>※ 「Ctrl」「Alt」「Shift」については単体で設定しても反映されません。必ず他のキーと組み合わせて設定を行ってください。</p> <p>また、組み合わせるキーにアルファベットを用いる場合は、「ASCIIコード (P.58)」から<u>必ず小文字</u>を設定してください。</p> <p>(例) 「Ctrl」 + 「a」 「Ctrl」 + 「Shift」 + 「y」</p>	
Arrow Left			
Arrow Right			

数字バーコード



0



5



1



6



2



7



3



8



4



9